

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	児童館（5館）、児童センター（1館）
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖 180 番地 名称 社会福祉法人 倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	保健福祉局子ども未来部子育て支援課
(4) 評価対象期間	令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>児童館・児童センターは、地域の子どもたちの健全な遊び場として、地域における児童福祉の重要な拠点の役割を担っている。</p> <p>令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントやクラブ運営についても自粛傾向ではあったが、その中でも利用者である乳幼児とその保護者、小学生及び中高生などそれぞれの年齢層に合わせたクラブ活動や、伝統行事を取り入れたイベントなど工夫を凝らした様々な活動を実施している。また、運営にはボランティアの方々にも携わっていただき、地域と連携しながら活動している。</p> <p>今年度は感染症対策、災害時の対応、おでかけ児童館事業についての三点を重視して評価を行った。</p> <p>感染症対策については、各館とも手指消毒やおもちゃ等の消毒、マスクの着用、来館者の検温等による体調管理の徹底をし、感染症の拡大防止に努めている。また、来館者にも日常から感染症対策を徹底するように掲示物等で促す等、日常から感染症対策の意識啓発にも努めている。さらには、新型コロナウイルスをはじめとし、種々の感染症発生時のマニュアル等を整備し、感染拡大の</p>	総合評価
	S	

	<p>防止のための対策も実施している。新型コロナウイルス感染症等の感染症が施設から発生すると一時閉館となる恐れもあるため、引き続き感染症に対する動向を注視し、安全に児童館運営を行ってほしい。</p> <p>災害時の対応については、各館ともマニュアルを整備し、緊急時の役割分担や連絡先を明確にしている。毎月の災害避難訓練については、水害や火災、地震等様々な災害発生を想定し、近隣施設と協力しながら訓練を行う等の工夫もしながら定期的に訓練を行っている。また、利用者カードを非常用持ち出し袋に入れるなどし、非常時に備えている。災害はいつ発生するか分からないものであるから、今後も引き続き訓練を重ねることで防災意識を高めてほしい。</p> <p>おでかけ児童館については、令和元年度から本格実施し、2年目の事業であるが、地区に偏りなく様々な地区で事業の実施ができている。また、公民館、児童クラブ、公園等、多種多様な施設を利活用して開催しており、その場その場に応じた事業の内容を実施し、内容の工夫もできている。今後も児童館からの距離が遠い地区へも積極的に向くとともに、利用場所や内容についても偏りなく工夫を凝らし、よりよい事業となっていくよう努めていただきたい。</p> <p>全児童館で毎年3月に実施する利用者アンケートでは、引き続き高い満足度となっている。また、各児童館・児童センター独自で利用者からアンケート調査を実施し、利用者のニーズ把握に努めるとともに、児童館業務に必要な研修を受講することにより、職員の資質及び利用者へのサービスの向上を図っている。</p>	
(2) 指定管理者の自己評価	<p>地域の児童が心身ともに健やかに育つための環境づくりを行うとともに楽しくふれあえる場、安心・安全に過ごせる居場所を提供し、児童福祉の向上に努めた。</p> <p>・児童館で共通に取り組んだ事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、各児童館の特色を活かした行事「ごー！ごー！！じどうかん」の実施時期を夏以降に延期し、それぞれの地域の現状に応じた形で行い、コロナ禍</p>	

でもできる遊びを提供することで、参加者に楽しんでもらうことができた。

・おでかけ児童館事業

地域のイベントや親子クラブ、放課後子ども教室等、児童館を利用しにくい地域へ出向き、工作や遊びの提供をした。6児童館で280回（6月～3月）実施した。

・地域の健全育成の環境づくり

児童館活動の内容を広報くらしき等でPRし、児童館だよりを6児童館合わせて毎月約4,800部発行し、児童館活動に関する理解や協力が得られるように努めた。

・ボランティアの育成

児童館を利用する子どもがボランティアとして活動できるよう支援した。

また、地域住民のボランティア受け入れは、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたため最低限にとどめたが、学生ボランティアや実習生を可能な限り受け入れて次世代育成に努めた。

・倉敷北児童センターの体力増進指導に関する事業

遊びや行事（運動を主とする。）を通して体力増進を図ることを目的として、子どもが運動に親しむ習慣を形成した。

参加者は、苦手な鉄棒や跳び箱にも挑戦し、達成できた喜びが自信に繋がった。

また、体力増進指導を通して子どもの社会性を伸ばし、心と身体健康づくりを図った。

・玉島児童館の地域子育て支援拠点事業

玉島児童館3階に常設しているつどいの広場では、おおむね3歳までの児童及び保護者を対象として、子育てに関する相談や援助、地域の子育て情報や親子交流の場の提供等を行った。

また、親子で楽しく交流し、ゆったりとした時間を過ごすことができるよう支援した。

・岡山県児童館連絡協議会の運營業務

「岡山県児童館連絡協議会」を設立し、会長職と運営事務局を担い、研修会の開催や児童館のネットワーク作りに努めた。

・自主事業

「ふれあいタイム」は、小学生の異年齢交流として様々な年齢の人たちと交流できる行事を実施した。

「おもちゃバンク」は、交換又は譲渡の方法を改善しながら引き続き実施し、おもちゃの再利用の促進に努めた。

大学生の実習や体験学習を受け入れ、次世代育成に努めた。

事業団職員を講師とし、児童や保護者を対象とした「親子ヨガ」、「運動遊び」、「育児相談・身体計測」、「福祉体験」を実施し、利用者のニーズに応えられる企画の実施に努めた。

幼児親子クラブや小学生以上対象の体験クラブ等はコロナ対策のためすべて中止し、代わりに異年齢又は年齢別の行事を活動内容を工夫しながら実施し、利用者のニーズに応えた。

〔各館で個別に取り組んだこと〕

倉敷児童館

建て替えに伴う仮運営期間中のため、「おでかけ児童館」に重点を置き、受け入れ可能な施設へ出向いて実施した。

また、室内での子どもの安全確保のため、遊具の設置場所等に配慮し、安心して過ごせるように努めた。

倉敷北児童センター

地域組織と連携して行うふれあい行事は、園芸が得意な会員と一緒に「ふれあい園芸」を実施した。参加者の中には、店頭で売られている野菜しか見たことがない児童もおり、土の中で育ったじゃがいもやさつま芋を掘る経験に目を輝かせていた。

水島児童館

乳幼児親子対象の行事「おひるねアート」、「手形&足形をとろう」や「身長・体重をはかろう」を実施した。子どもの成長を感じられる機会となり、継続して参加する親子の姿が見られた。

また、参加している保護者も、会話が弾む交流の場となった。

児島児童館

こま、けん玉や皿回しなどの昔あそびを積極的に紹介し普及に努めた。

また、行事や「おでかけ児童館」事業で、昔あそび体験の場を設け、地域の幅広い年齢の方に興味を持ってもらった。世代を超えて技を教え合う姿や競い合う姿が見られ、ふれあい交流の場となった。

玉島児童館

小学生が興味を持っていつでも取り組める遊びとして、こま・けん玉の各教室の開催や、クラレ倉敷ふれあい募金から寄

	<p>附のあった一輪車の貸し出しのほか、新規おもちゃを導入した。</p> <p>行事としては、クラフト体験やクッキング教室等を実施した。異年齢や他校同士の交流も見られ、友だちづくりのきっかけになった。</p> <p>真備児童館</p> <p>真備ふれあい朝市や地域親子クラブのイベント等に参画した。</p> <p>また、小学校の夏季休暇期間中に放課後児童クラブに赴き、工作・遊びの提供を行って、児童館の広報に努めた。</p>
(3) アンケート結果の概要	6 児童館分をまとめてグラフ化し、提出します。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th colspan="2">利用者数 (人)</th> <th rowspan="2">特記事項</th> </tr> <tr> <th>令和 2 年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>倉敷児童館</td> <td>13,395</td> <td>37,299</td> <td></td> </tr> <tr> <td>倉敷北児童センター</td> <td>16,566</td> <td>37,894</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水島児童館</td> <td>19,661</td> <td>34,332</td> <td></td> </tr> <tr> <td>児島児童館</td> <td>14,790</td> <td>40,372</td> <td></td> </tr> <tr> <td>玉島児童館</td> <td>23,794</td> <td>48,448</td> <td></td> </tr> <tr> <td>真備児童館</td> <td>19,599</td> <td>18,713</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>107,805</td> <td>217,058</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	利用者数 (人)		特記事項	令和 2 年度	令和元年度	倉敷児童館	13,395	37,299		倉敷北児童センター	16,566	37,894		水島児童館	19,661	34,332		児島児童館	14,790	40,372		玉島児童館	23,794	48,448		真備児童館	19,599	18,713		合 計	107,805	217,058	
	名 称		利用者数 (人)			特記事項																													
		令和 2 年度	令和元年度																																
	倉敷児童館	13,395	37,299																																
	倉敷北児童センター	16,566	37,894																																
	水島児童館	19,661	34,332																																
	児島児童館	14,790	40,372																																
	玉島児童館	23,794	48,448																																
真備児童館	19,599	18,713																																	
合 計	107,805	217,058																																	
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館で共通に取り組む事業として「ごー！ごー！！じどうかん」を地域の現状に応じた形で実施 ・地域のイベントや親子クラブ、放課後子ども教室等、児童館を利用しにくい地域での「おでかけ児童館」を実施 ・遊びを通して健全育成を図る体力増進活動、文化・創造活動、食育 																																		

	<p>活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の交流及び日常生活の支援 ・子どもと保護者が自由に交流できる場所や子育てに関する情報の提供 ・関連機関の協力を得ての子育て相談やふれあい活動の実施 ・児童健全育成のための広報活動 ・地域組織（母親クラブ）活動の支援 ・ボランティアの育成，実習生や体験学習の受け入れ，地域住民がボランティアとして活動できる場を可能な限り提供 ・配慮を必要とする子どもへの支援 ・自主事業（ふれあいタイム，おもちゃバンク，ボランティアや実習生受け入れ，異年齢又は年齢別の行事，事業団内での講師派遣交流）
(3) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の各種委員を積極的に努め，地域の子育て支援団体とも連携した。 ・倉敷児童館は，建て替えに伴い総合福祉会館 1 階へ移転し，安全確保に努めながら仮運営した。 ・「岡山県児童館連絡協議会」を設立し，運営した。

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	162,043 千円	
	市からの指定管理料（委託料）	160,999 千円	
	利用料金	0 千円	
	その他の収入	1,044 千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	155,260 千円	
	主な支出	人件費	110,549 千円
		光熱水費	6,050 千円
		修繕料	732 千円
		備品購入費	683 千円

	消耗品費	4, 6 7 4 千円
	施設管理委託費	8, 7 6 9 千円
	その他経費	2 3, 8 0 3 千円